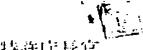
## 昭和57—14933



(4,000円)

### 実用新案登録願(\*)



昭和56年 3月16日



特許庁長官

殿

1 考案の名称

ディスクブレーキの摩擦パッド押圧係合構造

考案者 2

住 所 埼玉県北岛跡郡幸手町上高野1820

氏 名 岩 H 徽

実用新案登録出願人 3

> 所 東京都中央区日本橋小綱町19番5号 (ie

名 (051) 曙 ブレー 丰工 架 株 式 会 社 Æ

> 貞 代表者 信 元

(国 籍)

代理人

「東京都千代田区東の内2丁目6番2号」 丸の内式重測に乗330号

東海東新号 100 電流 · 212 · 3431 · 代)

(3667) 弁理士: 谷 山 捕





56 036501

317

149331

**BEST AVAILABLE COPY** 

明 細 書

#### 1. 考案の名称

ディスクプレーキの摩擦パッド押圧係合構造 2. 実用新架登録請求の範囲

#### 3. 考案の詳細な説明

本考案はディスクアレーキの摩擦パッド押圧係 合構造に関するものである。

一般にディスクプレーキの構成は、ローターと、 (1) 31o

147331

## 公司実用 昭和57一19331

とのローター緑部に配設固定されたサポートと、ローター緑部を跨ぐように配設され、かつ滑動を持ちれてサポートによりローター軸方向を動可能に支持されたキャリパと、ローターを映り、で対向一対に配設され、前記キャリパによりローターに挟圧される摩擦パッドとからなるローター、この摩擦パッドのローター接能するものである。

(2)

動、ピストンのシリンダ内での傾動等の不安定化を招き、ひいては摩擦パッドのライニング偏摩耗 振動要因に基づく所謂鳴きの発生等を生ずることがある。

そとで本考案においては、このうちの特に接触 状顔の不安化の難点が大きいインナー側の押圧力 伝達構造を改良して前記不具合を解消せんとする ものであり、具体的にはローターを映圧する対向 一対の摩擦パッドと、ローター最部を跨ぐよりに 配設され、かつローター一側方の脚部にパッド押 圧機構を内蔵し、他方の脚部が反作用爪部をなす キャリペとを備え、前記摩擦ペッドのローター挟 圧力は、前記パッド押圧機構のピストン及び前記。 反作用爪部から摩擦パッド背面に伝達するよう様 成したディスクプレーキにおいて、前記ピストン 前面と摩擦パッド背面には夫々一対に薄板シムを 取着せしめ、これらシムの係合面を介して押圧力 が伝達されるよう構成したととを特徴とするディ スクプレーキの摩睺ペッド押圧係合構造である。 以下本考案を図面に示す実施例に基づいて説明

する。

第1図において1はディスクプレーキのローター(図示せず)を挟んで対向一対に配設される摩擦パッドであり、裏板2の前面にはローターと指接するライニング3が固着されている。

4 は裏板 2 の背面に係合取着される第1 の檸板シムであり、本例では同第1 シム 4 は SUS 材にて形成されていると共に、中央上部及び左右下部の3 点に設けられた屈曲突起 5 及び 6 によって裏板2 の縁を抱持係合するように設けられている。

第2図(1)(中)(けは、ディスクプレーキのキャリパ (図示せず)に形成されたパッド押圧機構のシリングに滑合されるピストン7前面に取着される円 板状の第2の薄板シム8を示してむり、本例では 同第2シム8は前記第1シム4と同一のSUS 材に て形成されていると共に、円板状の縁に形成した 4つの屈曲突起9にてピストン7の前端外縁部を 抱持係合するよりに設けられている。

とのような第1及び第2のシム4、8を組込んだディスクプレーキにおいては、ピストン7がペッ

ド押圧機構の作動によって摩擦パッド1にローター方向への押圧力を伝達する場合には、ピストン7と摩擦パッド1の押圧力伝達係合面は夫々ピストン7及び摩擦パッド1に付属する2つのシム4及び8の係合によって構成されることになり、この係合面は摩擦係数が小(実験的に SUS 材同志で 0.1 2 ~ 0.1 7程度)なるために次のような効果が得られた。

即ち、これら2枚のシム4,8はこの個のディスクアレーキにおける所調鳴きのとしてからでからでいたものにおいるのとのではいたのとのではないない。またが近ののない。なかがは、2枚がないないでは、からないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないはピンタイプディスクを防ぎ、あるいはピンタイプディスク

## 公開作用 昭和57—149 31

アレーキにおいてはキャリパをローター軸方向に 案内するガイド面の損傷の疎れを軽減させるとい う利益もあり、その実用上の利益は極めて大なる ものであった。

第3図は第2の薄板シム8'を円環状とし、かつそのピストン7前面部への取着構造をピストン7の先端中空内周面側に3つの屈曲突起9'を弾着係合させるようにした例を示するのであり、これが摩擦ペッド1側に付属する第1シム4と押圧力伝達係合面を形成することによって得られる効果は前記第2図に示したものと同様のものである。

以上述べた如く、本考案よりなるディスクプレーキにおける摩擦パッドの押圧係合構造は、低摩擦係数の2枚のシムによって形成される押圧力伝達係合面を介してローター挾圧の押圧力を摩擦パッドに伝えるようにしたものであり、比較的簡単なる構成によって極めて優れた効果を得ることができ、その実用上の利益は大なるものであった。4.図面の簡単な説明

図皿は本考案の実施例を示すものであり、第1

(6)

図は摩擦パッドに第1シムを組付けた状態を示す 図であり、(イ)は背面図、向は側面図である。

第2図は第2シム、及びピストン前面にこの第 2シムを組付けた状態を示す図であり、(1)はその 断面図、何は第2シム正面図、付は側面図である。

第3図は第2シム及びピストン前面にこの第2 シムを組付けた状態を示す他の例を示す図であり、 (イ)はその断面図、(中)は第2シムの正面図である。

1…摩擦パッド、

2 … 奚 板、

3 … ライニング、

4 … 第 1 シム、

5、6…屈曲突起、

7…ピストン、

8,8'… 第2シム、 9,9'… 屈曲突起。

山 代埋人 谷

> 小 本

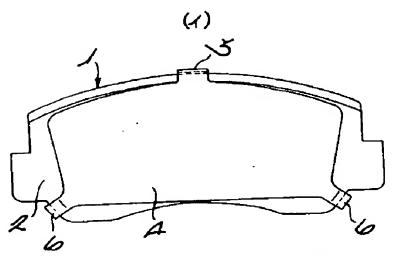
岸 HI 止

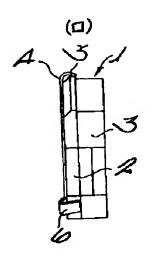
썖 紅

. . . . .

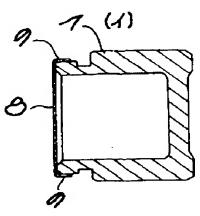
## 引実用 昭和57—19331

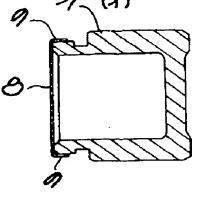
### 1 🔯

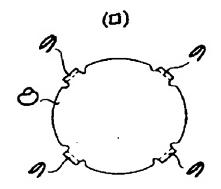


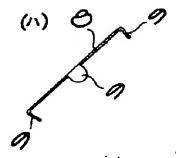


2 図







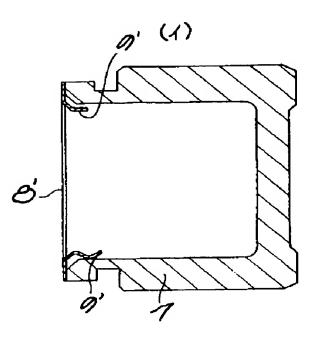


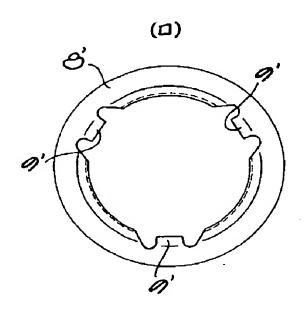
325

143331 2

代理人 谷 山 輝







32<sub>6</sub>

, 5331 /2

代理人谷山輝雄。他

## 公開実用 昭和57-149 31



5 添付書類の目録

(2) 図

(1) 明細書/

面/

1通 1通

(3) 委任状

1通

6 前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人(1) 者 本 者



### (2) 宝田新安登録出願人

### (3) 代理人

東京都千代田区丸の内2丁目6番2号 丸の内八重洲ビル330号

盲

(8331) 弁理上 本 多 小

同所(6754) 同岸

间 所 (6753)

新 部 興

行

治

321 /4930/

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DÉAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
Потиер.

### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.